

# 2013 SUPER GT IN マレーシア【第3戦】

Q1で残った精鋭8台が競うだけに、厳しいレースが予想されるQ2に挑むのは伊藤大輔選手。残り8分くらいからピットアウトして最後の2周のアタックに賭ける作戦で望んだレースの結果は、見事スーパーラップを決めて予選3番手で、翌日の決勝に駒を進めた。嬉しい結果に盛り上がるが、翌日の決勝に向けてチームはすぐに作戦会議を始めた。赤道直下の暑い場所での走り広げられる熱い戦いに期待が高まる。



数回接触しながらの激しい順位争い。



2位デンソー、3位レイブリック、4位KeepPer、その横がウィーダーの戦いが20周続いた。

**優勝できるチームだと確信**  
今回は不運なアクシデントに見舞われ残念な結果に終わってしまったが、ファイナルラップまでトップと10秒以内の差で走っていたKeepPer TOM'S SC430は、間違いなく優勝を目指せるチームだ。今後のレースからも目が離せない!!

## レース報告

**予選レース**  
厳しいレースを制して決勝進出を決めた!

Q1はアンドレア選手の好走で8位に!

6月15日、気温38度、湿度80%を超える過酷なマレーシアセパンサーキットで、スーパーGT 2013年第3戦の予選レースが行われた。スタートは夕方午後4時30分。Q1では15台でタイムを競い、速い8台がQ2に進出できる。Keeper TOM'S SC430はアンドレア・カルダレリ選手がQ1にアタック。日中に行われたフリー走行で調子の良かった固めのタイヤを選択したが、夕方にならないうちだけ下がった気温が裏目に出た。そんな中でも8番手を獲得してQ2進出を決めた。伊藤選手がスーパーラップを決めて決勝進出!

**決勝レース**  
灼熱のサーキットで繰り広げた圧巻のバトル!

アンドレア選手、好発進!

6月16日、セパン戦決勝が行われた。スタートドライバーはアンドレア選手。午後4時、54周の熱い戦いが始まった。予選3位の好位置からスタートし、好発進したが、熱い環境に強いといわれるミシュランタイヤを使う#11、Reinholdツェに抜かれて4位以下が下がった。直後に、その#1と#38 ZENT SC430が接触して、2位に浮上したが、10台ほどが10秒以内の差で走る大接戦だけに予断を許さない状況だ。その後、#12カルソニックGT-Rに抜かれ3位で走行。接戦のなか、3位で走り続け、予定より早めの24周でピットイン。ドライバーは伊藤選手に変わる。

仕絶なバトルを展開

全車がピットインして隊列が整った。#37 Keeper SC430は4番手となった。すぐにピットアウトしてきた#100レイブリックHSVと1周にわたるバトルを展開。プロ同士の意地がぶつかり合ったように激しく競うも、僅差でKeeper SC430が後ろの4位で落ち着いた。

伊藤選手の圧巻のテクニクで4位キープ

4位だが、トップから10秒以内でのファイナルラップまでの戦いを強いられる。2位、3位は目前だが、5位のマシンが襲いかかってくる状況での戦いをラスト20周続けなければならぬ。伊藤選手は圧巻のテクニクで、後続に仕掛けられながらも、タイムを落とさず3位の車について走り続ける。



ファイナルラップで、まさかのアクシデント!

いよいよ最終ラップ。このまま4位でゴールかと思つた瞬間、300クラスとの接触によりまさかのパンク。そしてコースアウト。接触した300クラスの車はアウト側に膨らんできて接触したので、レース後、ペナルティが課せられた。残り半周というところでマシンがパンクして、結果は10位にたった半周のパンクで6位も順位を下げた結果に、このレースが僅差の戦いだったことが分かる。チェッカーフラッグを受けて、すぐにマシンを止める。レースを終えた伊藤選手は、車から這い降りると倒れてしまった。灼熱の中、20数周に渡り緊迫のバトルを続けた選手の体力消耗は想像を絶するものがある。



# SUPER GT レポート

KeeperはTOM'Sとタッグを組み「#37 LEXUS TEAM KeePer TOM'S」を結成して、国内トップクラスのカーレース、スーパーGTに参戦している。TOM'Sは、1974年に創業したレース界の老舗として国内外で実績があるチームで、すでに#36 PETRONASカラーで参戦しており、我々の#37 KeePer TOM'S SC430を加えて、2カー体制での出場である。監督には世界でも有名な伝統ある「ルマン24時間耐久レース」で日本人初の総合優勝を飾った関谷正徳氏が担当し、ドライバーはベテランの伊藤大輔選手と、昨年もこの車で戦った戦友、アンドレア・カルダレリ選手。このコーナーでは、シリーズチャンピオン獲得を目指して熱く繰り広げられているレースの模様をお届けする。

## About SUPER GT

レース専用で作られた車で走るF1とは違い、トヨタのレクサス、ホンダのHSV、フェラーリ、アウディ、など世界中のメーカーから様々な人気車種が最高時速280kmオーバーという超高速の世界でバトルする、夢のようなレース。SUPER GTは性能差のあるGT500クラスとGT300クラスの2つに別れ、それぞれエンジンに入る空気量を調節してパワーの違いを生み出すほか、改造できる範囲も異なり速さにも差がある。この性能の違うクラスのマシンと一緒に走るためにサーキットの様々な所で勃発するバトルもレースの醍醐味のひとつ。



## ドライバープロフィール

**伊藤 大輔** Daisuke Ito



1975年11月5日生まれ。三重県出身。1995年に鈴鹿フォーミュラレーシングスクールの第1期生となり、フォーミュラカーの基礎を学ぶ。F3時代の1999年、アジア圏ドライバーとして初の3位表彰台を獲得。2013年「TOM'S」に移籍してますます活躍が期待される。

**アンドレア・カルダレリ** Andrea Caldarelli



1990年2月14日生まれ。イタリア出身。2005年にフォーミュラ・アズーラ(伊)で4輪レースに初参戦。2012年からはSUPER GTのGT500クラスにSC430でデビューし、第5戦鈴鹿で2位表彰台を獲得した。今季は「TOM'S」に移籍し、まずは初勝利を目指す。

## 「#37 KeePer TOM'S SC430」を応援しよう! 企画 第3弾

**8/18(日) SUPER GT第5戦鈴鹿サーキット 観戦チケット(予選・決勝共通券)をペア100組200名様にプレゼント!!**

キーパーコーティングをご愛顧の多くの皆様をSUPER GTにご招待します! 「LEXUS TEAM KeePer TOM'S」のピット前グラウンドスタンド席を陣取り、そろいのキャップで盛り上がりましょう!

巻末のハガキにてふるってご応募ください!【申込締切:7/20(土)】

※各会場までの交通費はご負担をお願いします。 ※予選・決勝の共通券となります(予選は決勝の前日)。 ※当選者の発表は、発送をもって替えさせていただきます。ご了承ください。

この企画に関するお問合せは・・・アイ・タック技研(株) ☎0120-517-158



「LEXUS TEAM KeePer TOM'S」のピット前のグラウンドスタンド席を陣取り、そろいのキャップで盛り上がるよ!